

第1問A 短い説明文 ルームメイト募集一

問題のねらい 簡単な語句や単純な文で書かれているルームメイト募集の広告の情報の探し読みを通じて、必要な情報を読み取る力を問う。

意図把握・推測 情報整理・判別

You are an international student in Australia. You came by yourself, and you will be responsible for your living costs. You are looking for a place to live. One morning you noticed this flier.

チラシ

Furnished Room for Rent

One furnished room to share with a female student. Prefer someone who doesn't stay up late and won't play musical instruments in the house. The room has a refrigerator, air-conditioner, bed, table, and wardrobe.

問1の正解の根拠

楽器

I was previously using the room for my studies but am now looking to rent it out in order to share some of the cost.

問2の正解の根拠

~するつもりだ

~を分け合う

Rent is \$100 per week including all bills (electricity, Internet, and water).

請求

The nearest bus stop is just a 2-minute walk from the house, and there is an express bus going to the city center.

The address is 45 Newnham Road, Moorooka.

全体要旨

ルームメイト募集の広告。

要旨

家具付き賃貸部屋。

問1②が誤りである根拠

ルームメイトの条件と部屋の設備。

問2②が誤りである根拠

ルームメイトを募集する目的。

部屋の賃貸料について。

交通の便について。

住所。

全文訳

あなたはオーストラリアの留学生である。ひとりで来たのであなたは生活費に責任を負うことになる。あなたは住む場所を探している。ある朝、このチラシを見つけた。

家具付き賃貸部屋

女子学生と共有するのは家具付きのひと部屋。夜ふかしをしない、また家の中で楽器を演奏しない人希望。部屋は冷蔵庫、エアコン、ベッド、テーブル、洋服ダンス付き。

以前はその部屋を勉強のために使っていましたが、費用を分け合うためにそれを貸し出すつもりです。

賃料はすべての請求（電気代、インターネット料金、水道代）込みで週100ドルです。

最寄りのバス停は家からほんの徒歩2分で、街の中心行きの急行バスがあります。

住所はモロッカ、ニューナム通り45番地です。

問1 《告知の意図を理解する》

The writer of this advertisement wants a roommate who **1** .

「この広告の書き手は **1** ルームメイトを求めている。」

選択肢

- ① ~~x~~ attends the same university
「同じ大学に通っている」▶述べられていない。
- ② ~~x~~ has a full-time job
「常勤の仕事を持った」▶「女子学生と共有する」とある。
- ③ ~~x~~ has room-sharing experience
「ルームシェアの経験がある」▶述べられていない。
- ④ is quiet around the house
「家で静かにしている」

解説 Prefer someone who doesn't stay up late and won't play musical instruments in the house. 「夜ふかしをしない、また家の中で楽器を演奏しない人希望。」とあるので④が正解。「女子学生と共有する」とあるので②は不適切。

問2 《告知から情報を読み取る》

The writer of this advertisement decided to rent out the room because **2** .

「この広告の書き手は **2** ので部屋を貸し出すことにした。」

選択肢

- ① ~~x~~ she wants a study partner at home
「家での勉強のパートナーがほしいと思っている」▶述べられていない。
- ② ~~x~~ she wants someone to play music with
「誰かに一緒に音楽を演奏してほしいと思っている」▶楽器を演奏しない人を希望している。
- ③ ~~x~~ she wants to make friends
「友達を作りたいと思っている」▶述べられていない。
- ④ she wants to spend less money
「費用を少なくしたいと思っている」

解説 ... am now looking to rent it out in order to share some of the cost 「費用を分け合うためにそれを貸し出すつもりです」より④が正解。①、③は本文中に述べられていない。Prefer someone who ... and won't play musical instruments in the house. 「家の中で楽器を演奏しない人希望。」と述べられているので②は不適切。

第1問B 短い説明文 一 修学旅行のオプションツアー

問題のねらい 英語教師から受け取った修学旅行のオプションツアーに関するチラシの情報の探し読みを通じて、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握する力を問う。

意図把握・推測 情報整理・判別

You will visit the United Kingdom on a school trip soon. Your English teacher gave you a leaflet about visiting the city of Oxford.

Visit the famous city of Oxford in the United Kingdom

Oxford is well known for its beautiful universities and traditional atmosphere. People from around the world come to see Oxford. The city has a long and interesting history. Students joining this tour will be asked to make a poster for their English class to tell their classmates about the things they learnt about its past and importance.

Tour Schedule

- 8:00 a.m. Meet at hotel entrance (London)
- 8:15 a.m. Train to Oxford centre
- 9:30 a.m. Arrive in Oxford and meet our guide (hear a short introduction)
- 9:45 a.m. Take a city tour bus and learn about Oxford
- 10:45 a.m. Make a stop at a nursing home to talk to locals about the town's history
- 11:30 a.m. Bus to Pitt Rivers Museum (a popular history museum)
- 12:30 p.m. Lunch in the museum restaurant (chance to buy souvenirs)
- 2:00 p.m. Visit the famous university (good opportunities for pictures)
- 4:00 p.m. Finish the main tour at Oxford train station, then visit a nearby park to enjoy the green space
- 4:30 p.m. Train back to the hotel in London, where you'll have dinner

- ★ This tour is optional for those students wishing to have a deeper experience of the United Kingdom.
- ★ Lunch and transport are included in the tour.
- ★ Apply through your teacher or e-mail oxfordstudenttours@uk.com for more information.

全体要旨

イギリスへの修学旅行中のオックスフォードのオプションツアーについて。

要旨

オックスフォードの紹介と参加生徒への課題。

旅行日程

ホテルに集合
列車でオックスフォードへ
ガイドと合流

市内観光バスに乗る
老人ホームを訪ねる

博物館へ
博物館のレストランで昼食
問2②が誤りである根拠
大学へ
観光を終えて公園へ

列車でロンドンのホテルへ
問3①が誤りである根拠

追記
ツアーの対象と料金に含まれるもの。

申し込み方法と連絡先のメールアドレス。

learnt learn の過去形・過去分詞。イギリス英語のつづり。アメリカ英語では learned。
centre 「中心」 イギリス英語のつづり。アメリカ英語では center。

問1 《チラシの目的を把握する》

This tour allows students to [3] . 「このツアーで生徒は [3] ことができる。」

選択肢

- ① × experience many different UK cities 「イギリスの多くの様々な都市を経験する」 ▶訪れるのは1つの都市。
- ② learn more about the United Kingdom 「イギリスについてより多く学ぶ」
- ③ × make new friends to write e-mails to from home
「故郷からeメールをするための新しい友達をつくる」 ▶述べられていない。
- ④ × study with university English teachers 「大学の英語の先生と勉強する」 ▶述べられていない。

解説 ★の1項目目に「このツアーはイギリスをより深く体験したい生徒向けのオプションツアーです。」とあるので、②が正解。

全文訳

あなたはもうすぐ修学旅行でイギリスに行く予定である。英語の先生がオックスフォード訪問についてのチラシをくれた。

イギリスの有名な都市オックスフォードへの訪問

オックスフォードは美しい大学と伝統的な雰囲気です。世界中の人々がオックスフォードを見に来ます。この都市には長く興味深い歴史があります。この旅行に参加する生徒は英語の授業で、その過去と重要性について学んだことをクラスメイトに話すためにポスターをつくるよう頼まれるでしょう。

旅行日程

- 午前8:00 ホテルの玄関に集合 (ロンドン)
- 午前8:15 オックスフォード中心へ列車で行く
- 午前9:30 オックスフォード到着後ガイドと会う (短い紹介を聞きます)
- 午前9:45 市内観光バスに乗りオックスフォードについて学ぶ
- 午前10:45 老人ホームに寄ってその街の歴史について地元の人と話す
- 午前11:30 バスでピット・リバーズ博物館へ (人気の歴史博物館)
- 午後12:30 博物館のレストランで昼食 (お土産を買う機会があります)
- 午後2:00 有名な大学を訪問 (写真を撮る絶好の機会です)
- 午後4:00 オックスフォード駅で主な観光は終了、そのあと近くの公園に行って緑地を楽しむ
- 午後4:30 ロンドンのホテルへ列車で帰り、夕食をとる

- ★ このツアーはイギリスをより深く体験したい生徒向けのオプションツアーです。
- ★ 昼食と交通費はツアーに含まれています。
- ★ 先生を通して申し込むか、または詳しくはメールで oxfordstudenttours@uk.com まで。

問2 《チラシの詳しい情報を読み取る》

During the tour, the students will **4**. 「ツアーの間、生徒たちは **4** 予定だ。」

選択肢

- ① go to places where other tourists can't go
「ほかの旅行者が行くことのできない場所へ行く」▶「ほかの旅行者が行くことのできない」とは述べられていない。
- ② have chances to take photos with a professor
「教授と一緒に写真を撮る機会を得る」▶「(大学で) 写真を撮る絶好の機会」と書かれているだけ。
- ③ make local goods to take home as souvenirs
「お土産として家に持って帰る地元のものをつくる」▶述べられていない。
- ④ meet elderly people who live in the city 「その市に住んでいる年配の人に会う」

解説 日程の午前10:45に **Make a stop at a nursing home to talk to locals about the town's history** 「老人ホームに寄ってその街の歴史について地元の人と話す」とあることから④が正解。

問3 《チラシの詳しい情報を読み取る》

After finishing the main tour in Oxford, students can **5**.
「オックスフォードでの主な観光を終えたあと、生徒たちは **5** ことができる。」

選択肢

- ① have a special dinner 「特別な夕食を食べる」▶「特別な」とは述べられていない。
- ② have free time for shopping 「買い物のための自由時間をとる」▶述べられていない。
- ③ relax in a park 「公園でくつろぐ」
- ④ visit more famous places 「もっと有名な場所を訪ねる」▶述べられていない。

解説 日程の午後4:00に **Finish the main tour at Oxford train station, then visit a nearby park to enjoy the green space** 「オックスフォード駅で主な観光は終了、そのあと近くの公園に行って緑地を楽しむ」とあることから③が正解。午後4:30に「ロンドンのホテルへ列車で帰り、夕食をとる」とあるが「特別な」とは述べられていないので①は不適切。

第2問A 短い説明文 —カリフォルニアジャパニーズフェスティバル—

問題のねらい イベントの告知の読み取りや推測を通じて、平易な英語で書かれた短い説明文の概要や要点をとらえる力や、情報を事実と意見に整理する力を問う。

概要・要点把握 情報整理・判別

You are studying in America and living with host parents and their 5-year-old son. You found an announcement for an interesting festival on a website.



The California Japanese Festival is a great opportunity for people to celebrate and learn about this unique culture. Japan is famous for its traditional culture. Come down with your family and friends, and participate in various traditional activities. The festival will have tea tastings, market stalls, chopstick challenges, fireworks, and some rides for children to enjoy. There are also workshops, such as rice cake making, calligraphy, tea ceremony, bonsai, and playing traditional Japanese musical instruments.

Prices are the same as last year. Entrance to the festival is \$10 for adults, and free for children. All children's rides are \$5 and all food is \$10. If you plan to drive, there is free parking at the festival.

Date and Time: September 20, 10 a.m. – 6 p.m.

Location: California Showground

Review and comments

Michelle McGregor

This festival was amazing when I attended it last year. It was my first time attending this kind of event and although small, it had a lot of interesting activities. The only thing I would suggest is more vegetarian gyoza next time. They were sold out within one hour, and it was the only vegetarian dish.

Ethan Harvey

I took my wife and two kids to this event last year. We had a great time! The gyoza was delicious. We finished off two plates each, even my kids. My younger kid tried one of the rides. I personally liked the calligraphy workshop best.



▲ The gyoza stall is a special feature in this festival.

全体要旨

カリフォルニアジャパニーズフェスティバルの紹介。

要旨

フェスティバルではどのような体験ができるか。

問3①が誤りである根拠

フェスティバルの料金や日時、場所について。

問5④が誤りである根拠

去年フェスティバルを訪れた人の感想。

問4③が誤りである根拠 (意見)

問3②が誤りである根拠

問5③が誤りである根拠 (事実)

あなたはアメリカに留学していて、ホストペアレントと彼らの5歳の息子と一緒に暮らしている。あなたはウェブサイトに興味深いフェスティバルの告知を見つけた。

カリフォルニアジャパニーズフェスティバル

カリフォルニアジャパニーズフェスティバルは人々がこの独特の文化を称賛し、学ぶのに絶好の機会です。日本はその伝統文化で有名です。家族や友人たちと一緒にやってきて、様々な伝統的なアクティビティに参加してください。フェスティバルではお茶の試飲、市場の屋台、お箸チャレンジ、花火、それに子どもたちが楽しめるいくつかの乗り物があります。またお餅つきや書道や茶道、盆栽、伝統的な和楽器の演奏といったワークショップもあります。

料金は去年と同じです。フェスティバルへの入場は大人10ドルで、子どもたちは無料です。子どもたちの乗り物はすべて5ドルで、食べ物はすべて10ドルです。車で来る予定なら、フェスティバルには無料の駐車場があります。

日時：9月20日午前10時～午後6時

場所：カリフォルニア催事場

▲ギョーザの屋台はこのフェスティバルの目玉です。

レビューとコメント

ミシェル・マクレガー

去年このフェスティバルに参加したときはすばらしかったです。この類のイベントに参加するのは初めてでしたが、小さくてもたくさん面白いアクティビティがありました。一つだけ私が提案したいのは、次回は菜食主義者向けのギョーザをもっと作っていただくことです。それらは1時間以内に売り切れてしまい、そしてそれは唯一の菜食主義者向け料理だったのです。

イーサン・ハーベイ

私は去年このイベントに妻と二人の子どもを連れていきました。私たちは楽しい時間を過ごしました！ ギョーザは美味しかったです。私たちはそれぞれ2皿ずつ食べました。子どもたちまでもです。下の子は乗り物の一つ試しました。私は個人的には書道のワークショップが一番よかったです。

問1 《フェスティバルの目的を把握する》

The festival would be good if you want to **6**.
 「もしあなたが **6** たいならこのフェスティバルは適しているだろう。」

- 選択肢
- ① learn about ~~×~~American food
 「アメリカの食べ物について学び」▶アメリカ文化は対象ではない。
 - ② learn about Japanese culture
 「日本の文化について学び」
 - ③ ~~×~~learn how to manage festivals
 「フェスティバルの運営の仕方を学び」▶述べられていない。
 - ④ ~~×~~learn how to sing traditional Japanese songs
 「日本の伝統的な歌の歌い方を学び」▶述べられていない。

解説 告知の第①文にある **this unique culture** は日本の文化を指しているため、アメリカの食べ物について学ぶ①は不適切。④については、伝統的な和楽器の演奏のワークショップはあると述べられているが歌い方については触れられていない。②の「日本の文化について学ぶ」については、第①文に **a great opportunity** 「絶好の機会」とあるので②が正解。

問2 《使った金額を計算する》

Ethan spent **7** on his kids at the festival.
 「イーサンはフェスティバルで彼の子どもたちに **7** 使った。」

- 選択肢
- ① 25 dollars 「25ドル」
 - ② 45 dollars 「45ドル」
 - ③ 65 dollars 「65ドル」
 - ④ 85 dollars 「85ドル」

解説 入場料は大人一人につき10ドルだが、子どもは無料。食べ物はすべて10ドルで、二人の子どもたちは2皿ずつギョーザを食べたので40ドル。また子どもの一人が乗り物に乗ったので5ドル。すべて合わせて45ドルなので②が正解。

問3 《ホストブラザーを連れていくことにした理由を推測する》

After reading the announcement and reviews, you want to take your host brother to the festival because **8**.
 「告知とレビューを読んだあと、あなたはホストブラザーをそのフェスティバルに連れていきたいと思った、なぜなら **8** からだ。」

- 選択肢
- ① ~~×~~it doesn't charge adults if you bring a child
 「子どもを連れていけば大人に料金を課さない」▶無料になるのは子どもだけである。
 - ② it has ~~×~~a large selection of vegetarian dishes
 「菜食主義者向けの料理の選択肢がたくさんある」▶ギョーザが唯一の菜食主義者向け料理だったとある。
 - ③ it has calligraphy classes ~~×~~for kids
 「子どもたちのための書道クラスがある」▶子ども向けとは書かれていない。
 - ④ it has positive reviews and rides for kids
 「よいレビューがついており、子どもたちのための乗り物もある」

解説 冒頭の場面設定から、ホストブラザーは5歳であることがわかる。記事では、**some rides for children to enjoy** 「子どもたちが楽しめるいくつかの乗り物」があると紹介されており、子どもたちを連れていったイーサンのレビューから子どもが楽しんだことがわかるので④が正解。

問4 《事実と意見に整理する》

According to the website, one **fact** (not an opinion) about the festival is that **9**.

「ウェブサイトによると、フェスティバルについての一つの**事実**（意見ではなく）は **9** ということである。」

選択肢

- ① last year was the first time Michelle went to this festival
「ミシェルがこのフェスティバルに行ったのは昨年初めてだった」
- ② ~~the bonsai workshop was always very busy~~
「盆栽のワークショップはいつも大にぎわいだった」▶述べられていない。
- ③ ~~the festival was small but interesting~~
「フェスティバルは小さかったが興味深かった」▶事実ではなくミシェルの意見である。
- ④ ~~you can enjoy Japanese film at the festival~~
「あなたはフェスティバルで日本の映画を楽しめる」▶述べられていない。

解説 ミシェルはレビューで **It was my first time attending this kind of event** 「この類のイベントに参加するのは初めてでした」と述べており、**事実とわかるので①が正解**。

問5 《事実と意見に整理する》

According to the website, one **opinion** (not a fact) about the festival is that **10**.

「ウェブサイトによると、フェスティバルについての一つの**意見**（事実ではなく）は **10** ということである。」

選択肢

- ① the calligraphy workshop was great
「書道のワークショップはすばらしかった」
- ② ~~the festival had food for everybody~~
「フェスティバルには全員分の食べ物があった」▶述べられていない。
- ③ ~~the vegetarian gyoza was very popular in the festival~~
「菜食主義者向けのギョーザはフェスティバルでとても人気であった」
▶レビューとコメントに菜食主義者向けのギョーザが1時間以内に売り切れたことが記載されている。これは実際に起きたことなので、事実である。
- ④ ~~you need to pay for parking if you come by car~~
「車で来るなら駐車料金を支払う必要がある」▶無料の駐車場があると述べられている。

解説 イーサンがレビューの最後の文で **I personally liked the calligraphy workshop best** 「個人的には書道のワークショップが一番よかった」という意見を述べているので**①が正解**。

第2問B 短い説明文 一賃借人と住宅所有者一

問題のねらい 賃借人への支援の是非についてのディベートの準備をする場面で、平易な英語で書かれた短い説明文の読み取りを通じて、その概要や要点をとらえる力や、書き手の意見を把握する力を問う。

概要・要点把握 情報整理・判別

Your English teacher gave you an article to help you prepare for a debate in class. A part of the article is shown below with one of the comments from other readers.

Renters Need Help, Too!

by Christopher Connor

1 Many government policies and programs help homeowners. Some programs offer loans so that people can buy their first homes. Other programs lower taxes paid by homeowners.

2 Some people say these programs are good for society because they encourage people to buy homes and settle in their neighborhoods. If residents live in the same place for a long time, they will help their neighbors and work hard to improve their communities.

3 Yet it is common for people to change jobs often and move to new cities while building careers. For that reason, it doesn't always make sense to buy a home. In some countries, such as Germany and Switzerland, about half of the people rent instead of buying homes. By contrast, about 65% of the people own homes in countries such as Canada, Japan, and the United States.

4 Rents are rising quickly in many cities, yet government programs typically help homeowners rather than renters. This is unfair to people who rent their homes. Renters are increasingly important to the community. For example, in my neighborhood, there is a woman who has rented the same apartment for 30 years! Therefore, governments should limit the size of rent increases. They should also consider making tax rates the same for renters and homeowners.

5 Government housing policies were created years ago. It's a good idea to take a closer look at them to make sure they are fair to renters. Policies should go hand in hand with the current situation.

6 ● Comments

Peter Walls: Some changes to help renters are good, but changing tax policies may lower house prices and hurt homeowners.

全体要旨

賃借人と住宅所有者に対する政策やプログラムの現状を説明し、その対策を求める英文。

要旨

問2①が誤りである根拠(事実)

1 多くの政策は住宅所有者を支援するものである。

問3④が誤りである根拠(事実)

2 現在の政府のプログラムのよい点。

3 各国の住宅事情。

問2②が誤りである根拠(事実)

4 賃借人と住宅所有者に対する政策を公平にすべきだ。

問3③が誤りである根拠(意見)

5 何年も前につくられた政策は、現状に合わせて変えるべきだ。

6 記事の内容に対する考えを述べたコメント。

全文訳

あなたの英語の先生は、あなたたちに授業でのディベートの準備をするのに役立つ記事をくれた。ほかの読者たちからのコメントを一つ含むその記事の一部が以下に示されている。

賃借人だって支援が必要！

著者 クリストファー・コナー

1 ①多くの政府の政策やプログラムは住宅所有者を支援するものだ。②人々が初めての家を買うことができるように融資を提供するプログラムもある。③住宅所有者によって支払われる税金を引き下げるプログラムもある。

2 ①これらのプログラムは社会にとってよいと言う人がある、なぜならそれらは、人々が家を買ったり、その地域に定住したりするのを促進するからである。②居住者が同じ場所に長く住むなら、近所の人たちを助け、彼らの地域社会を改善するために懸命に働くであろう。

3 ①けれども、キャリアを築いている間、人々はたびたび転職し新しい都市へ引っ越すのが一般的である。②そうした理由から、家を買うのは必ずしも理にかなっていないとは限らない。③ドイツやスイスのような国々では、国民の約半分が家を買わずに借りている。④一方、カナダや日本、それにアメリカ合衆国のような国々では国民の約65パーセントが家を所有している。

4 ①多くの都市で賃貸料は急速に上がっているが、政府のプログラムは賃借人よりむしろ住宅所有者を救済するのが普通である。②これは家を借りる人々に対して不公平である。③賃借人は地域社会にとってますます重要になっている。④例えば、私の近所には、30年間同じアパートを借りている女性がいます。⑤それゆえに、政府は賃貸料の上昇の幅を制限すべきである。⑥彼らはまた賃借人と住宅所有者に対して同じ税率にすることを検討すべきである。

5 ①政府の住宅政策は何年も前につくられた。②それらが賃借人に対して公平であるかを確認するために、注意深くそれらを見るのはよい考えだ。③政策は現在の状況と密接にかかわるべきである。

6 ①コメント

②ピーター・ウォールズ：③賃借人を支援するいくらかの変化はよいが、税金政策を変えるのは住宅価格を引き下げ、住宅所有者を苦しめるかもしれない。

問1 《政府の住宅政策について把握する》

According to the article, one merit of many government policies is to help homeowners to **11**.
「この記事によれば、多くの政府の政策の利点は、住宅所有者が **11** のを手助けすることである。」

選択肢

- ① change the average age of their community
「彼らの地域社会の平均年齢を変える」▶述べられていない。
- ② establish careers in their communities
「彼らの地域社会でキャリアを確立する」▶述べられていない。
- ③ grow more established in their communities
「彼らの地域社会の中により定着する」
- ④ treat every homeowner in their community the same
「地域社会においてすべての住宅所有者を同じように扱う」▶述べられていない。

解説 ②で、住宅を購入して定住すれば、**they will help their neighbors and work hard to improve their communities**「近所の人たちを助け、彼らの地域社会を改善するために懸命に働くであろう」という政策支持者の意見が紹介されているので、③が正解。

問2 《支持する意見を把握する》

Your team will support the debate topic, "Governments should create more policies to help renters."
In the article, one **opinion** (not a fact) helpful for your team is that **12**.
「あなたのチームは『政府は賃借人を支援する政策をもっとつくるべきだ』というディベートのトピックを支持する。この記事の中で、あなたのチームのために役立つ一つの**意見**（事実ではなく）は、**12** ということである。」

選択肢

- ① government policies have supported homeowners
「政府の政策は住宅所有者を支援してきた」▶事実である。
- ② owning a home is more common in some countries than others
「家を所有することは、いくつかの国ではほかの国々より一般的である」▶事実である。
- ③ renters are also important to their neighborhoods
「賃借人もまたその地域にとって重要である」
- ④ workers today should change jobs and cities more often
「今日の労働者は仕事や都市をもっと頻繁に変えるべきだ」▶述べられていない。

解説 ④で **Renters are increasingly important to the community**. 「賃借人は地域社会にとってますます重要になっている。」と述べられていることから、③が正解。①は①で述べられている事実なので不適切。②は③で述べられている事実であり、チームに役立つ内容でもないので不適切。

問3 《反対する意見を把握する》

The other team will oppose the debate topic. In the article, one **opinion** (not a fact) helpful for that team is that **13**.

「相手のチームはそのディベートのトピックに反対する。この記事の中で、そのチームのために役立つ一つの意見（事実ではなく）は、**13** ということである。」

選択肢

① ~~more people should own homes in Germany and Switzerland~~

「ドイツやスイスではもっと多くの人々が家を所有するべきだ」

▶述べられていない。

② owning a home makes people want to participate in community life

「家を所有することで人々は地域の生活に参加したいと思うようになる」

③ ~~the increase in prices is not fair for renters~~

「価格の上昇は賃借人にとって公平でない」

▶反対するチームに役立つ意見。

④ ~~there are several government programs to help people buy houses~~

「人々が家を買うのを支援する政府のプログラムがいくつかある」

▶「人々が初めての家を買うことができるように融資を提供するプログラムもある」とある。現実存在することに基づく内容なので、事実である。

解説 ②で、家を買って同じ場所に長く住むようになれば **they will help their neighbors and work hard to improve their communities** 「近所の人たちを助け、彼らの地域社会を改善するために懸命に働くであろう」という意見が述べられているので、②が正解。「賃貸料を上げるのは不公平だ」というのはトピックに賛成するチームに役立つ意見なので、③は不適切。

問4 《筆者の意見の要点を把握する》

In the 5th paragraph of the article, “policies should go hand in hand with the current situation” means that policies should **14**.

「この記事の第5パラグラフにある “policies should go hand in hand with the current situation” は、政策は **14** べきだということの意味している。」

選択肢

① ~~be adjusted while they are new~~ 「それらが新しい間は調整される」

② ~~make it easy for people to pay tax~~ 「人々が税金を払いやすいようにする」

③ ~~not be created in one day~~ 「一日でつくられない」

④ reflect the housing circumstances 「住宅の状況を反映する」

解説 直前の2文に「政府の住宅政策は何年も前につくられた。…公平であるかを確認するために、注意深くそれらを見るのはよい考えだ。」とあり、**policies should go hand in hand with the current situation** は「政策は現在の状況と密接にかかわるべきである」という意味なので、同様の意味を表す④が正解。

問5 《コメントの意見の要点を把握する》

According to his comment, Peter Walls **15** Christopher Connor’s opinion.

「コメントによれば、ピーター・ウォールズはクリストファー・コナーの意見 **15**。」

選択肢

① ~~has no particular opinion about~~ 「について特に意見を持っていない」

② partly agrees with 「に一部賛成している」

③ ~~strongly agrees with~~ 「に強く賛成している」

④ ~~strongly disagrees with~~ 「に強く反対している」

解説 コメント欄でピーター・ウォールズはクリストファー・コナーが述べた「賃借人への支援」に理解を示す一方、税金政策によって今度は住宅所有者が苦しむかもしれないと述べている。よって一部賛成しているとわかるので、②が正解。

第3問 A 短い物語 —ドーナツ工場見学—

問題のねらい イラスト付きの平易な英語で書かれたドーナツ工場見学に関するブログの読み取りを通じて、書かれている内容の概要を把握する力を問う。

概要・要点把握

You found the following story about a doughnut factory tour on a social media site.

Doughnut Factory Tour

Saturday, July 17

1 ①I went on a doughnut factory tour. ②It was my first time visiting a food factory. ③I arrived at 8:30 a.m., half an hour before the start of the tour so I could look around and take photos. ④The factory was huge and I could smell the doughnuts from outside, which made me hungry.

2 ①Before we started the tour, we had to prepare. ②We washed our hands and then put on gloves and hairnets. ③After we went inside we were greeted by a manager who started off the tour. ④We were first shown the production area of the factory, where they made the dough from flour and yeast. ⑤It was very exciting – we even got to make some dough.

3 ①After the tour of the production area, we went to the processing area where the employees were decorating and packing the doughnuts. ②I tried decorating them, but it was harder than I expected. ③At the end of the tour we were given a box of six doughnuts to take home.

4 ①I was amazed that so much work goes into making doughnuts. ②I'll appreciate them more now that I know how they're made.

問2の正解の根拠



全体要旨

初めてのドーナツ工場見学を終えての感想をつづったブログ記事。

要旨

1 初めての食品工場見学でドーナツ工場に行った。

2 見学前には清潔さを保つための準備が必要だった。見学は、製造エリアから始まり、ここでは生地作りを体験した。

3 次いで加工エリアを見学し、飾りつけを体験したが、予想以上に難しかった。見学の最後に持ち帰り用のドーナツをもらった。

4 ドーナツ製造には大変な手間がかかることを知った。

問1①が誤りである根拠

問2②が誤りである根拠

問2①が誤りである根拠

全文訳

あなたは、ソーシャルメディアサイトでドーナツ工場見学についての、次の話を見つけた。

ドーナツ工場見学

7月17日 土曜日

- 1** ①私はドーナツ工場見学に行った。②食品工場を訪れるのは初めてだった。③私は見学開始の30分前の午前8時30分に到着したので、あたりを見て回ったり写真を撮ったりすることができた。④その工場は巨大で、外からでもドーナツの匂いがしてきて、私はおなかがすいてきた。
- 2** ①私たちは見学を始める前に、準備をする必要があった。②私たちは手を洗い、それから手袋とヘアネットを身に着けた。③中へ入ったあと、私たちはその見学を開始させる責任者によって出迎えられた。④私たちはまずその工場の製造エリアを見せられたのだが、そこでは小麦粉とイーストから生地を作っていた。⑤とてもわくわくしたのは、生地作りも体験できたことだった。
- 3** ①製造エリア見学のと、私たちは従業員たちがドーナツに飾りつけをし、パック詰めしている加工エリアに行った。②私はドーナツに飾りつけを試みたが、それは予想以上に難しかった。③見学の終わりに、私たちは持ち帰り用の6個入り一箱のドーナツをもらった。
- 4** ①私はとても多くの作業がドーナツを作るのに費やされることに驚いた。②私はもっとドーナツを味わうつもりだ、今ではドーナツがどのように作られているのか知っているのだから。

問1 《話の概要を把握する》

On the doughnut factory tour, **16**. 「ドーナツ工場見学で、**16**。」

選択肢

- ① ~~employees made the doughnuts from flour and sugar only~~
「従業員たちは小麦粉と砂糖だけからドーナツを作った」▶小麦粉とイーストから生地を作った。
- ② ~~managers made doughnuts for the tour group~~
「責任者は見学グループのためにドーナツを作った」▶述べられていない。
- ③ participants needed to make themselves clean
「参加者は自分たちを清潔にする必要があった」
- ④ ~~people weren't allowed to take pictures~~
「人々は写真の撮影を許可されていなかった」▶述べられていない。

解説 2の第①・②文から、参加者は見学前の準備として、手を洗って手袋とヘアネットを着用しなくてはならなかったことがわかる。よって、正解は③。

問2 《筆者の体験を把握する》

You learned that the writer of this story **17**.

「あなたは、この話の筆者は **17** ことを知った。」

選択肢

- ① enjoyed a factory tour and ~~bought six doughnuts to take home~~
「工場見学を楽しみ、持ち帰り用にドーナツを6個買った」
▶持ち帰り用のドーナツはもらったものである。
- ② ~~packed doughnuts until 11 o'clock and felt it was hard work~~
「11時までドーナツをパック詰めして、それは難しい仕事だと感じた」
▶難しいと感じた作業は、ドーナツの飾りつけである。
- ③ took a two-hour tour of a doughnut factory and learned how to make doughnuts
「2時間のドーナツ工場見学に参加しドーナツの作り方を知った」
- ④ ~~was bored during the tour and didn't really understand how to decorate doughnuts~~
「見学中に飽きてしまい、ドーナツの飾りつけの仕方はあまりよく理解できなかった」▶述べられていない。

解説 1の第③文から見学開始時刻は午前9時であったことがわかる。さらにイラストの時計から、お土産のドーナツを持ち帰っている(=見学終了)時刻は11時であることから見学時間は2時間である。また、4の第②文より、「今ではドーナツがどのように作られるか知っている」と筆者は述べているので、③が正解。

第3問B 短い物語 –インドへの旅行–

問題のねらい 平易な英語で書かれたインドへの旅行に関する記事の読み取りを通じて、書かれている内容の概要を把握する力を問う。

概要・要点把握

You found a story in a travel magazine about a British traveler.

Senses in India

Jack Evans (Travel Writer)

① Boom, honk and bang. ② This is what hits you when you step onto the street in Delhi, India. ③ It's a world away from where I live in Oxford. ④ Delhi is a colourful city that has the power to excite anyone. ⑤ It happened to me. ⑥ Here's an example of the positive impact that travel can have.

⑦ This morning, I went out to get some breakfast at a local market. ⑧ I found myself inspired to write about it. ⑨ Nothing special happened, but in India even an ordinary day can have an impact. ⑩ One of the first things I noticed on the street was the noise. ⑪ Things happen all around you. ⑫ Even though you can't always see what's there, your hearing becomes more sensitive. ⑬ It's a way to excite your mind. ⑭ Then, there was the food in the market. ⑮ I didn't even need to taste it. ⑯ The variety of different aromas was enough to satisfy me. ⑰ I think every chef and anyone interested in being a chef should come to India. ⑱ The flavours and scents stimulate the imagination.

⑲ At the real heart of India, too, are those who live there. ⑳ Some say that it's the land of a million smiles. ㉑ I agree. ㉒ Everyone on my walk this morning appeared to wear a big smile. ㉓ The Indians are beautiful, positive people. ㉔ Many of them treat strangers like close friends or a member of their family.

㉕ Although the people are friendly, Delhi is crowded. ㉖ If you are afraid of narrow spaces or crowds, it isn't for you. ㉗ There was some bumping and gentle pushing on my walk. ㉘ It's all part of the travel experience, and you can learn from it. ㉙ Then finally, my breakfast! ㉚ It was delicious. ㉛ I'll tell you about it in my next article!

全体要旨

英国人の旅行ライターがインドのデリーで感化されたこと。

要旨

① 筆者は、旅行先のインドのデリーでよい衝撃を受け、その具体的な話を書くことにした。

② デリーの市場に出かけた筆者は、騒音に衝撃を受け、また匂いに想像力をかき立てられた。

③ インドの人は美しく、前向きで親切であった。

④ 狭い空間や人込みが苦手な人にはデリーは適さない。朝食がとてもおいしかったので、次の記事で書こうと思う。

colourful「生き生きとした」イギリス英語のつづり。アメリカ英語では colorful。
flavour「味」イギリス英語のつづり。アメリカ英語では flavor。

あなたは、旅行雑誌でイギリス人の旅行者についての話を見つけた。

インドでの感覚

ジャック・エヴァンス（旅行ライター）

- 1** ①ドカーン、ブッパー、パン。②これは、インドのデリーの街に足を踏み入れるとあなたに襲ってくるものだ。③そこは私が住んでいるオックスフォードから離れた世界である。④デリーは、誰をも興奮させる力がみなぎっている生き生きとした都市だ。⑤それがたまたま私に起きたのだ。⑥以下は旅行にあり得るよい意味での衝撃の例である。
- 2** ①今朝、私は地元の市場に朝食を買いに出かけた。②私は、気づくとそのことを書こうという気になっていた。③何も特別なことは起こらなかったが、インドでは普通の日でさえも衝撃があり得る。④私が街で気づいた最初の1つは、騒音であった。⑤いろいろなことが周り中で起きている。⑥たとえ何が起きているのか常に見えなくても、聴力をもっと敏感になってくる。⑦それは心を躍らせる1つの流儀である。⑧それから、市場には食べ物があった。⑨私はそれを味わう必要すらなかった。⑩様々な異なる匂いは、私を満足させるのに十分であった。⑪すべてのシェフやシェフになることに興味を持っているどんな人もインドに来るべきだと思う。⑫味と特有の匂いは想像力をかき立てる。
- 3** ①インドの本質はそこに住んでいる人々でもある。②100万の微笑みの土地であると言う人もいる。③私も同意見だ。④今朝散歩中に出会った誰もが満面の笑みを浮かべているように見えた。⑤インドの人は美しく、前向きである。⑥彼らの多くが見知らぬ人を親しい友人か家族の一員のように扱う。
- 4** ①人々は親しみやすいが、デリーは込み合っている。②狭い空間や人込みを恐れるなら、そこはあなたに適さない。③散歩中に何度かぶつかったり、軽く押されたりした。④すべてが旅行での経験の一部で、それから学ぶことができる。⑤そして、最後に朝食だ！ ⑥とてもおいしかった。⑦私の次の記事でそのことを話そう！

共通テスト 対応力 UP!!

問1 《登場人物が刺激された知覚の順番を把握する》

STEP 1 設問文から何が問われているかを把握しよう

According to the story, Jack's senses were stimulated in the following order: hearing → **18** → **19** → **20** → **21**.

「この話によれば、ジャックの知覚は以下の順番に刺激された：聴覚 → **18** → **19** → **20** → **21**。」

Check

ジャックが刺激された知覚の順番が問われていることを把握できた。

STEP 2 話の展開や論理展開を把握しよう

本文中のジャックが刺激された知覚の順番を追っていき、知覚を表していると思われるところに印をつけよう。

→**2**第④文の One of the first things I noticed on the street was the noise. 「騒音」

→**2**第⑩文の The variety of different aromas was enough to satisfy me. 「匂い」

→**3**第④文の Everyone on my walk this morning appeared to wear a big smile. 「満面の笑みを浮かべているように見えた」

→**4**第③文の There was some bumping and gentle pushing on my walk. 「何度かぶつかったり、軽く押されたりした」

→**4**第⑥文の It was delicious. 「とてもおいしかった」の順に知覚が刺激されていったことがわかる。

Check

ジャックが刺激された知覚を表している箇所を把握できた。

STEP 3 選択肢を吟味しよう

- ① sight 「視覚」
- ② smell 「嗅覚」
- ③ taste 「味覚」
- ④ touch 「触覚」

解説 **2**第④文の the noise は hearing 「聴覚」 → **2**第⑩文の aromas は smell 「嗅覚」 → **3**第④文の appeared to wear a big smile は sight 「視覚」 → **4**第③文の some bumping and gentle pushing は touch 「触覚」 → **4**第⑥文の It was delicious. は taste 「味覚」 にそれぞれ対応していることがわかる。

したがって、② → ① → ④ → ③が正解。

問2 《記事の概要を把握する》

Jack thinks the people of India are **22** .

「ジャックはインドの人々は **22** と思っている。」

選択肢

- ① ×honest and polite
「正直で礼儀正しい」▶述べられていない。
- ② ×independent and organized
「独立心が強くきちょうめんだ」▶述べられていない。
- ③ kind and cheerful
「親切で陽気だ」
- ④ ×open and hardworking
「率直で勤勉だ」▶述べられていない。

解説 ③の第④～⑥文に「今朝散歩中に出会った誰もが満面の笑みを浮かべているように見えた。インドの人は美しく、前向きである。彼らの多くが見知らぬ人を親しい友人か家族の一員のように扱う。」とあることから、③が正解。

問3 《記事全体の概要を把握する》

From this story, you learned that Jack **23** .

「この話から、あなたはジャックが **23** ということを知った。」

選択肢

- ① ×saw how much better things were in his own country, so he wrote an article
「自国の状況がいかにずっとよいかかわかったので記事に書いた」▶述べられていない。
- ② understood through his experiences that travel can affect a person
「旅行は人に影響を与えうることを自分の経験を通して理解した」
- ③ ×wanted to move to India permanently because he found the food fascinating
「食べ物が興味をそそることがわかったので、インドに永住したかった」▶述べられていない。
- ④ ×was surprised at how friendly people were and didn't know how to react
「人々があまりにも愛想がよかったのに驚いて、どのように対応したらよいかわからなかった」▶述べられていない。

解説 ①の第④～⑥文に「デリーは、誰をも興奮させる力がみなぎっている生き生きとした都市だ。それがたまたま私に起きたのだ。以下は旅行にあり得るよい意味での衝撃の例である。」とあり、ジャックは旅行先のデリーでよい衝撃を受けたことについて具体的な話を書いたことがわかる（具体的な話は第②～④パラグラフで展開されている）。したがって、②が正解。

第4問 複数の英文と図表 一若者の買い物の仕方一

問題のねらい Z世代の若者の買い物の仕方について書かれた複数の記事の読み取りを通じて、記事やグラフから、書き手の意図を把握する力や必要な情報を得る力を問う。

意図把握・推測 複数情報判断

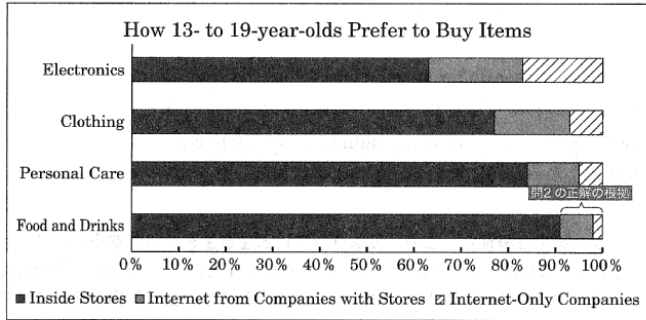
You are doing research on stores and shopping behavior. You found two articles on the topic.

A Nice Surprise for Stores

by Russ Jordan

1 ①I've been a clothing store manager for 15 years, and teenagers always surprise me! ②With the growth of the Internet, everyone expected all of the stores and malls to close. ③Certainly, some stores have closed. ④But others are very, very successful. ←

2 ①The biggest surprise is that teenagers from "Generation Z" enjoy shopping in stores. ②Since they were born in the late 1990s and 2000s, they are often called "digital natives" who are comfortable with smartphones, social media, and virtual experiences.



3 ①Yet, studies show that teens from Generation Z love stores and malls. ②According to one survey, 95% went to a mall between February and April 2018, compared with 75% for older millennials and 58% for adults from Generation X. ③As the graph shows, teenagers prefer to buy foods, clothing, and personal care items like soap in stores. ④They feel a little less strongly about items like TVs.

4 ①I think some of their reasons are practical. ②For example, you can try on clothing and shoes easily in a store. ③If you see something you like, you can buy it and bring it home with you!

5 ①But there's more to it. ②Teenagers like to have fun and shop together. ③In my stores, we make it even more fun with bands and other live events. ④That way, we make shopping a rich experience that's impossible to have online. ⑤It's working for now, but one thing I've learned is that teenagers always keep you guessing!

全体要旨

Z世代の若者の買い物の仕方に関する二つの考察。

要旨

1 インターネットの成長に伴い実店舗はすべて閉店するだろうと思われたが、成功している店もある。

問1②が誤りである根拠

2 意外なことに、デジタルネイティブと呼ばれるZ世代はお店での買い物を楽しむ。

Source: Millennials Tried to Kill the American Mall, But Gen Z Might Save It

3 Z世代の若者はもっと年上の世代よりも実店舗での買い物を好む。

4 その理由は現実的なものである。店で試着し、気に入ったらすぐに持ち帰ることができる。

5 10代の若者は一緒に楽しんで買い物をするのが好きなので、店はイベント開催などオンラインでは不可能な体験を提供している。

全文訳

あなたはお店と買い物行動についての調査をしている。あなたはこの話題について二つの記事を見つけた。

店にとってのうれしい驚き

著者 ラス・ジョーダン

- 1 ①私は衣料品店の店長を15年間しているが、10代の子たちにはいつも驚かされる！ ②インターネットの成長に伴い、誰もがお店もショッピングモールもすべて閉店するだろうと思った。③確かに、閉店した店もある。④だがとても、大変成功している店もあるのだ。
- 2 ①最大の驚きは、「Z世代」の10代の若者がお店での買い物を楽しむことである。②彼らは1990年代後半と2000年代に生まれたので、スマートフォンやソーシャルメディア、仮想体験を使いこなせる「デジタルネイティブ」と呼ばれることが多い。
- 3 ①しかし、研究によると、Z世代の若者は店やショッピングモールが大好きである。②ある調査によると、95パーセントが2018年の2月から4月の間にショッピングモールへ行っていて、一方、年上のミレニアル世代は75パーセント、さらにX世代の大人は58パーセントである。③グラフが示すように、10代の若者は食べ物や衣服、そして石けんのような身の回り品をお店で買うことを好む。④彼らはテレビのような品物に対しては思い入れが少し弱い。
- 4 ①現実的な理由もあると思う。②例えば、衣服や靴はお店で簡単に試着することができる。③もし気に入る物を見たら、それを買って家に持ち帰ることができるのだ！
- 5 ①しかしそれ以上のこともある。②10代の若者は一緒に楽しんで買い物をするのが好きだ。③私の店では、バンドやほかのライブイベントでさらにもっと楽しくしている。④そのようにして、私たちは買い物をオンラインでは不可能な豊かな体験にしている。⑤それは今のところうまくいっているが、私が学んだ一つのことは、10代の若者にはいつもハラハラさせられっぱなしだということだ！

問1 《どちらの書き手も言及していないことを把握する》

Neither Russ Jordan nor Amelia Wilson mentions **24** .

「ラス・ジョーダン氏もアメリア・ウィルソンさんも、二人とも、**24** に言及していない。」

選択肢

- ① ~~x~~ that getting items from stores quickly isn't important
「店からすぐに商品を買うのは重要なことではないということ」▶ウィルソンさんが述べている。
- ② ~~x~~ that not all shops have been influenced by net shopping
「すべての店がネットショッピングに影響を受けてきたわけではないこと」▶ジョーダン氏が述べている。
- ③ that people can usually get items much more cheaply on the Internet
「人々は普通、インターネットですつと安く品物を買うことができること」
- ④ ~~x~~ the risk of buying clothes on the Internet 「インターネットで衣服を買う危険」▶ウィルソンさんが述べている。

解説 ①、②、④はジョーダン氏またはウィルソンさんが述べている。③については両者とも述べていないので、③が正解。

問2 《必要な情報を得る》

The item Amelia Wilson had bought most recently was **25** .

「アメリア・ウィルソンさんが一番最近買った品物は **25** だった。」

選択肢

- ① ~~x~~ a clothing item 「衣類品」
- ② a food or drink item 「食べ物または飲み物」
- ③ ~~x~~ a personal care item 「身の回り品」
- ④ ~~x~~ an electronics item 「電子製品」

解説 アメリア・ウィルソンさんは、③の第②・③文で「私が直近で物を買ったのは、オンラインでだった。ジョーダン氏の記事のグラフを見ると、私の年齢の人々ではこうした種類の品物をオンラインで買うのは10%未満である。」と述べている。ジョーダン氏の記事のグラフによると、Internet from Companies with Stores と Internet-Only Companies を合わせても10%未満なのは Food and Drinks である。したがって、正解は②。

要旨

Opinion on “A Nice Surprise for Stores”

by Amelia Wilson

① Russ Jordan’s article made me think about why I like shopping in stores. ② He’s right about some of the reasons. ③ For example, I have to try clothing on before I buy it. ④ A T-shirt can look great in social media or a magazine but terrible when you’re actually wearing it!

② ① I don’t care about getting items quickly, since I always look for the best deals. ② Part of the fun is going with my friends to several stores to find a good price and try things on together. ③ We also like stores that offer one-of-a-kind items made just for you. ④ One of my favourite stores sells jackets and trousers with hundreds of different choices. ⑤ You can choose long sleeves, short sleeves, and almost any colour. ⑥ You can also get your name on the jacket. ⑦ It can be any type of writing, including foreign languages.

③ ① It’s funny, though. ② The last time I bought something, it was online. ③ Looking at the graph in Mr. Jordan’s article, less than 10% of people my age buy this kind of item online. ④ But one of my friends bought something from the same company and loved it. ⑤ So I wanted to try that, too. ⑥ Although the item was perfectly good, I felt the experience was missing something.

④ ① Maybe I’ll change when I’m older, but for now I prefer stores to online shopping. ② And I’m pretty choosy about where I shop, so stores have to offer me something special!

① ジョーダン氏の記事で挙げられた理由のいくつかは正しい。試着の必要があるなどだ。

問1 ④が誤りである根拠

② 友達と買い物に行き、手頃な値段のものを探したり、たくさんの選択肢の中から選んだりして買い物を楽しむ。

問1 ①が誤りである根拠

③ オンラインで最近買ったものは、よいものだったが、経験は何か欠けている気がした。

④ 今のところは、オンラインよりも店で買い物が好きだ。

favourite 「お気に入りの」 イギリス英語のつづり。アメリカ英語では favorite。
trousers 「ズボン」の意味の名詞 (イギリス英語)。アメリカ英語では普通, pants で「ズボン」を表す。
colour 「色」 イギリス英語のつづり。アメリカ英語では color。

問3 《必要な情報を得る》

People in Generation Z **26** .

「Z世代の人々は **26** 。」

選択肢

- ① buy more personal care items than older people
「もっと年上の人々よりもたくさんの身の回り品を買う」▶述べられていない。
- ② have different shopping habits from people in Generation X
「X世代の人々とは買い物習慣が異なる」
- ③ prefer to avoid stores and shopping malls
「店やショッピングモールを避けるのを好む」▶「お店での買い物を楽しむ」とある。
- ④ use social media while they are shopping in stores
「店で買い物をしている間にソーシャルメディアを使う」▶述べられていない。

解説 ジョーダン氏の③の第②文で、Z世代の人々はX世代の人々よりも実店舗に足を運ぶことが述べられているので、②が正解。

全文訳

「店にとってのうれしい驚き」に関する意見

著者 アメリア・ウィルソン

1 ①ラス・ジョーダン氏の記事を読んで、私はなぜ自分が店での買い物が好きかを考えさせられた。②理由のいくつかについて彼は正しい。③例えば、私は衣服を買う前に試着しなければならない。④あるTシャツがソーシャルメディアや雑誌ですてきに見えても、自分が実際に着てみるとまったくひどく見えることがあるのだ!

2 ①私はいつも一番お得なものを探すので、すぐに品物を買うことにはこだわらない。②楽しみの一部は、いくつかのお店に友達と一緒にいって、手頃な値段のものを見つけて、一緒に試すことである。③私たちはまた、自分のためだけにつくられた一点ものの品物を提供するお店が好きだ。④私のお気に入りのお店の一つでは、何百もの様々な選択肢の上着やズボンが取り揃えられている。⑤長袖も半袖も、そしてほとんどどんな色でも選ぶことができる。⑥上着に名前を入れてもらうこともできる。⑦外国語を含むどんな種類の文字も可能なのである。

3 ①でも、奇妙だ。②私が直近で物を買ったのは、オンラインでだった。③ジョーダン氏の記事のグラフを見ると、私の年齢の人々ではこうした種類の品物をオンラインで買うのは10%未満である。④でも私の友人の一人が同じ会社から物を買って、とても気に入った。⑤それで私もそれを試してみたかったのだ。⑥品物は完璧によい物だったけれども、その経験は何か欠けているような気がした。

4 ①たぶん私はもっと年をとれば変わるだろうけれども、今のところオンラインでの買い物よりもお店の方が好きだ。②そして私はどこで買い物をするかにはとてもこだわりがあるので、お店は特別な物を私に提供してくれないといけない!

問4 《書き手が言及していることを把握する》

Russ Jordan states that stores can be successful when they [27], and Amelia Wilson states that she enjoys shopping in stores that [28]. (Choose a different option for each box.)

「ラス・ジョーダン氏は、店は [27] ときに成功できると述べ、アメリア・ウィルソンさんは、[28] 店で買い物を楽しむと述べている。」(それぞれの空欄に異なる選択肢を選べ。)

選択肢

- ① let shoppers make a lot of choices 「買い物客にたくさん選択するようにさせる」 [28]
- ② offer social experiences for shoppers 「買い物客に社交的な経験を提供する」 [27]
- ③ offer websites with special sales 「特別セールを催すウェブサイトを提供する」▶述べられていない。
- ④ provide free food for teenagers 「無料の食べ物を10代の若者に提供する」▶述べられていない。
- ⑤ teach workers to be friendly and fun 「働く人に友好的で面白くなるよう教える」▶述べられていない。

解説 ジョーダン氏は店が成功できる工夫について、5の第4文で「私たちは買い物をオンラインでは不可能な豊かな体験にしている」と述べているので、[27]には②が入る。ウィルソンさんについては、買い物の楽しみの一部として2の第4文で「私のお気に入りのお店の一つでは、何百もの様々な選択肢の上着やズボンが取り揃えられている。」と選択肢の多さを挙げているので、[28]には①が入る。

問5 《どれがレポートのタイトルとしてふさわしいかを判断する》

Based on the information from both articles, you are going to write a report for homework. The best title for your report would be "[29]."

「両方の記事からの情報に基づいて、あなたは宿題のレポートを書くつもりである。あなたのレポートに最適の表題は『[29]』であろう。」

選択肢

- ① Generation X Shopping Habits
「X世代の買い物習慣」▶レポートを書くには情報が不十分。
- ② The Most Popular Items Teenagers Buy 「10代の若者が買う最も人気のある商品」▶述べられていない。
- ③ Why Malls Are Losing to Online Stores
「ショッピングモールがオンラインストアに負けている理由」▶述べられていない。
- ④ Why Stores Appeal to Generation Z 「なぜ店がZ世代を魅了するのか」

解説 ラス・ジョーダン氏の記事では、Z世代の買い物動向の分析と、衣料品店の店長としてどのような工夫をしているかが述べられている。また、アメリア・ウィルソンさんは若者の買い物客の立場として、自身の購買行動や店での買い物を好む理由について述べている。これらの趣旨を踏まえて書くレポートのタイトルとしては、④が最も適切。

第5問 物語 —テンジン・ノルゲイ—

問題のねらい エベレスト登頂に初めて成功したテンジン・ノルゲイに関する物語の読み取りを通じて、物語の概要を把握する力を問う。

概要・要点把握

Your group is preparing a poster presentation entitled “Tenzing Norgay: Sir Edmund Hillary’s Guide” using information from the biographical article below.

伝記の

① Tenzing Norgay, whose name was originally Namgyal Wangdi, was born in 1914 in Tibet. ② He was a mountaineer and, in 1953, joined Edmund Hillary in climbing to Mount Everest’s summit. ③ Thus, Tenzing and Hillary became the first people to set foot on the top of the world’s highest peak.

② ① No one knows exactly why Namgyal came to Nepal, nor do we know when he changed his name to Tenzing. ② But it’s possible that he changed it after moving to Nepal to hide that he had come from Tibet. ③ At the time, Sherpas, a Himalayan people living on the borders of Nepal and Tibet, thought immigrant Tibetans were of low status. ④ So it was hard for people like Tenzing to find work. ⑤ One of his first jobs was working on a farm, but in 1933, he quit his job and settled in India. ⑥ There, he was able to marry the Sherpa woman whom he had met in Nepal. ⑦ In 1935, when he was only 20 years old, he joined a Swiss expedition of Mount Everest. ⑧ This was his first expedition, but they failed to reach the summit. ⑨ Between 1936 and 1941, Tenzing joined more expeditions of Mount Everest than any other climber, but none of these teams ever reached the top.

③ ① Because of World War II, most expeditions of Mount Everest were stopped, but Tenzing didn’t give up climbing. ② He climbed two mountains in India, and two more in Pakistan. ③ He also continued climbing in Nepal. ④ After World War II, Tenzing joined several expeditions of Mount Everest, but still did not reach the top. ⑤ In 1952, he was hired by a Swiss team that made two failed attempts to climb the southern route of Mount Everest. ⑥ Then, in 1953, he joined the British Everest expedition, and he was assigned to climb with Hillary. ⑦ The two men started from a tent at 27,900 feet (8,500 meters) on the Southeast Ridge of the mountain, and they reached the summit at 11:30 a.m. on May 29. ⑧ Tenzing took photographs of the surroundings and ate a mint cake. ⑨ He also left an offering of food because he was a religious Buddhist.

敬虔な、信心深い

全体要旨

エベレスト登頂に初めて成功した人物の1人について書かれた英文。

要旨

① テンジン・ノルゲイはエドモンド・ヒラリーと共に世界最高峰エベレストの登頂に成功した最初の人物である。

② テンジンはネパールに移り、農場で働くなどしたが、やがてインドに移る。20歳のときに初めてエベレスト探検隊に加わったが、山頂到達には失敗した。

③ 第二次世界大戦中も登山を続け、1953年、英国の探検隊に加わり、ヒラリーと共に山頂に到達した。

4 ①After becoming one of the first men to summit Mount Everest, Tenzing was pleased with the fact that he was among the first Asians of the modern era to achieve worldwide fame. ②Many Nepalese and Indian people regarded him as a hero. ③Among his many honors, he was awarded Britain's George Medal and the Star of Nepal (Nepal Tara). ④In 1955, Tenzing wrote his autobiography, *Man of Everest* (also called *Tiger of the Snows*), with James Ramsey Ullman. ⑤In 1978, *After Everest* was written. ⑥It describes Tenzing's life after his 1953 climb of Mount Everest and his work as the field director at the Himalayan Mountaineering Institute, established by the Indian government in 1954. ⑦Another book, *Tenzing: Hero of Everest*, was written in 2003. ⑧This biography shows a great deal of sensitivity for Tenzing and an appreciation of his life, achievements, and disappointments.

5 ①In his later years, he married his third wife with whom he had three sons and one daughter. ②In 1986, Tenzing died in India. ③Ten years after that, one of his sons did what his father had done in the 1950s: he climbed to the top of Mount Everest.

4 エベレスト登頂成功後、彼は世界的に有名になった現代の最初のアジア人となったことに喜んだ。賞を得たり、自伝や伝記が出版されたりした。

5 テンジンは3度目の結婚で3人の息子と1人の娘に恵まれた。死後、そのうちの1人が父と同じようにエベレストの登頂に成功した。

全文訳

あなたのグループは、下にある伝記記事からの情報を利用して、「テンジン・ノルゲイ：エドモンド・ヒラリー卿のガイド」という題のポスタープレゼンテーションを準備している。

1 ①テンジン・ノルゲイは、その名前は元々はナムギェル・ワンディであったのだが、1914年にチベットで生まれた。②彼は登山家であり、1953年にエベレストの山頂を目指す登山でエドモンド・ヒラリーに加わった。③こうして、テンジンとヒラリーは世界最高峰の山頂に足を踏み入れた最初の人物になった。

2 ①ナムギェルがなぜネパールにやってきたかを誰もはっきりと知らず、また彼がいつ自分の名前をテンジンに変えたのかもわからない。②しかし、彼がチベット出身だったことを隠すためにネパールに移ったのちにそれを変えた可能性がある。③当時、ネパールとチベットの国境で暮らすヒマラヤの民族であるシェルパ族の人々は、チベットからの移民を身分の低い者と考えていた。④それでテンジンのような人々にとって仕事を見つけるのは大変だった。⑤彼の最初の仕事の一つは農場で働くことだったが、1933年に仕事を辞め、インドに定住した。⑥そこで彼はネパールで出会っていたシェルパの女性と結婚できた。⑦1935年、彼がまだ20歳だったときに、彼はスイスのエベレスト探検隊に加わった。⑧これが彼の初めての探検旅行だったが、彼らは山頂到達に失敗した。⑨1936年から1941年の間、テンジンはほかのどの登山者よりも多くのエベレスト探検隊に参加したが、これらのチームのどれも山頂に到達することはなかった。

3 ①第二次世界大戦のために、エベレスト探検のほとんどが取りやめになったが、テンジンは登山をあきらめなかった。②彼はインドで2つの山に登り、パキスタンでさらに2つの山に登った。③彼はまた、ネパールでも登山を続けた。④第二次世界大戦後、テンジンはいくつかのエベレスト探検隊に参加したが、なお山頂に到達しなかった。⑤1952年、彼はスイスのチームに雇われたが、そのチームはエベレストの南側ルートを登る試みに2度失敗した。⑥そして、1953年、彼は英国のエベレスト探検隊に加わり、ヒラリーと登る担当になった。⑦その二人の男性は山の南東尾根27,900フィート(8,500メートル)のテントから出発し、5月29日午前11時30分、山頂に到達した。⑧テンジンは周囲の写真を撮り、ミントケーキを食べた。⑨彼はまた食べ物のお供えも山頂に残した、というのでも彼は敬虔な仏教徒だったからだ。

4 ①エベレストに登頂した最初の男性の1人となったあと、テンジンは世界規模の名声を得た現代の最初のアジア人の仲間入りをしたという事実で喜んだ。②多くのネパール人やインド人は彼を英雄とみなした。③彼の多くの榮譽の中に、英国のジョージ十字勲章とネパールの星勲章(Nepal Tara)の受賞があった。④1955年、テンジンは、ジェームズ・ラムジー・ウルマンと共に、自伝『エベレストの男』(『雪の虎』とも呼ばれる)を書いた。⑤1978年には『エベレストその後』が書かれた。⑥それには1953年のエベレスト登山後のテンジンの人生と、1954年にインド政府によって設立されたヒマラヤ登山学校での実地監督としての仕事も語られている。⑦別の一冊『テンジン：エベレストの英雄』は2003年に書かれた。⑧この伝記では、あふれるほどのテンジンへの思いやりと、彼の人生、業績、落胆への理解が示されている。

5 ①晩年、彼は3番目の妻と結婚し、3人の息子と1人の娘に恵まれた。②1986年、テンジンはインドで亡くなった。③それから10年後、彼の息子の1人が、自分の父親が1950年代に成し遂げたことを行った：つまり、彼はエベレストの山頂に登ったのである。

Tenzing Norgay: Sir Edmund Hillary's Guide
 テンジン・ノルゲイ：エドモンド・ヒラリー卿のガイド



Tenzing Norgay
 テンジン・ノルゲイ

■ **The Life of Tenzing Norgay** テンジン・ノルゲイの人生

Period 時期	Events 出来事
1910s 1910年代	Tenzing was born テンジンが生まれた
1930s - 1980s 1930年代～1980年代	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">30</div> ③ Tenzing tried climbing Mt. Everest for the first time ↓
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">31</div> ④ Tenzing was unable to summit Mt. Everest ↓
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">32</div> ① Tenzing made it to the top of Mt. Everest ↓
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">33</div> ② Tenzing passed away
1990s 1990年代	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">34</div> ⑤ Tenzing's son climbed Mt. Everest

■ **About Tenzing:** テンジンについて：

☆ Before Tenzing was 21 years old, 35 .

テンジンが21歳になる前, 35 .

☆ About Tenzing's life after reaching the summit of Mount Everest:

エベレスト山頂に到達後のテンジンの人生について：

- 36
- 37

☆ About his fame, Tenzing would most likely say, "38 ."

自分の名声について, テンジンは「38」と最も言いそうである。

問1 《どのような人生を歩んだのかを時系列順に把握する》

Put the following events into the order in which they happened. 30 ~ 34

「以下の出来事を起こった順に並べよ。」 30 ~ 34

選択肢

- ① Tenzing made it to the top of Mt. Everest
「テンジンはエベレストの山頂に到達した」
- ② Tenzing passed away
「テンジンは亡くなった」
- ③ Tenzing tried climbing Mt. Everest for the first time
「テンジンは初めてエベレスト登山に挑戦した」
- ④ Tenzing was unable to summit Mt. Everest
「テンジンはエベレストの山頂に到達することができなかった」
- ⑤ Tenzing's son climbed Mt. Everest
「テンジンの息子がエベレストに登った」

解説 ①は③の第⑥・⑦文に、②は⑤の第②文に、③は②の第⑦・⑧文に、④は②の第⑧・⑨文と③の第④文に、⑤は⑤の第③文に述べられていることから、30には③、31には④、32には①、33には②、34には⑤を入れるのが正解。

問2 《人生の前半で起こった出来事を把握する》

Choose the best statement for 35.

「35に入れるのに、最も適当な文を一つ選べ。」

選択肢

- ① he changed his name, possibly to avoid discrimination from Sherpas
「おそらくシェルパ族の偏見を避けるために彼は名前を変えた」
- ② ~~x~~ he climbed lots of mountains for European expeditions
「彼はヨーロッパの探検隊のためにたくさんの山に登った」▶ 21歳より前のことではない。
- ③ ~~x~~ he climbed Mount Everest, reaching the summit with Edmund Hillary
「彼はエベレストに登り、エドモンド・ヒラリーと共に頂上に到達した」▶ 21歳より前のことではない。
- ④ ~~x~~ he joined more expeditions of Mount Everest than any other climber
「彼はほかのどの登山家よりも多くのエベレスト探検隊に加わった」▶ 21歳より前のことではない。

解説 Before Tenzing was 21 years old 「テンジンは21歳になる前」とあるので、②の第⑦文「1935年、彼がまだ20歳だったときに、彼はスイスのエベレスト探検隊に加わった。」に着目し、1936年より前の出来事を選ぶ。①は②の第①～⑤文より21歳より前のことと判断できる。

問3 《人生の後半で起こった出来事を把握する》

Choose the two best statements for **36** and **37**. (The order does not matter.)

「**36** と **37** に入れるのに、最も適当な文を二つ選べ。(順番は問わない。)」

選択肢

- ① ~~He began climbing other mountains in India, Pakistan and Nepal.~~
「彼はインド、パキスタン、ネパールのそのほかの山に登り始めた。」▶エベレスト登頂前のこと。
- ② He began working for the Himalayan Mountaineering Institute in India.
「彼はインドのヒマラヤ登山学校のために働き始めた。」
- ③ ~~He joined a Swiss team and climbed Mount Everest again.~~
「彼はスイスのチームに参加し、再びエベレストに登った。」▶エベレスト登頂前のこと。
- ④ ~~He returned to his hometown with little wealth.~~
「彼は少ない財産を持って故郷へ戻った。」▶述べられていない。
- ⑤ He was given awards from Britain and Nepal.
「彼は英国とネパールから賞を贈られた。」

解説 after reaching the summit of Mount Everest 「エベレスト山頂に到達後」とあるので、**3**の第⑦～⑨文のエベレスト登頂よりあとの出来事を選ぶ。**2**は**4**の第⑥文に述べられている。また、**5**は**4**の第③文に述べられている。

問4 《どのような人物であったのかを把握する》

Choose the best statement for **38**.

「**38** に入れるのに、最も適当な文を一つ選べ。」

選択肢

- ① ~~I couldn't have climbed Mount Everest without James Ramsey Ullman's help~~
「私はジェームズ・ラムジー・ウルマンの助けなしではエベレストに登れなかっただろう」▶述べられていない。
- ② I'm proud that I helped make people aware that Asians can do great things
「私は、アジア人が優れたことをできると人々に気づかせる助けをしたことを誇りに思う」
- ③ ~~I'm very happy that I could climb Mount Everest with my son~~
「私は息子とエベレストに登れたことがとてもうれしい」
▶息子はテンジンの死後にエベレストに登頂したのであり、一緒に登っていない。
- ④ ~~Writing three books about my life was probably harder than climbing Mount Everest~~
「自分の人生について3冊の本を書くことは、おそらくエベレストに登るよりも難しかった」
▶述べられていない。

解説 **4**の第①文より、テンジンは現代のアジア人として初めて世界に知られる名声を得た一人となったことを喜んでいてことがわかる。したがって、**2**が正解。

第6問A 説明文 —キャッシュレス社会への変化—

問題のねらい 授業で行うポスタープレゼンテーションのための準備をする場面で、キャッシュレス社会への変化に関する記事の読み取りを通じて、記事の概要・要点や論理展開を把握する力や、要約する力を問う。

概要・要点把握 論理展開把握 要約

You are preparing for a poster presentation on economic and social policy. You have found the article below.

Towards a Cashless Society?

現金のいらぬ

1 ①The northern European country of Sweden is moving quickly to become a cashless society. ②Many Swedish stores and even some banks no longer accept coins or paper money. ③By 2025, half of all Swedish stores expect no longer to accept cash.

2 ①These changes may be too fast, even for Swedish people who are comfortable with electronic payments. ②Only four years earlier in 2014, 40% used cash, but in 2018, just 13% of Swedish shoppers paid for items with cash. ③People aged 18 to 24 are most comfortable with cashless payments. ④Up to 95% of their purchases are with debit cards and a popular Swedish cellphone payments app.

3 ①Many businesses are considering becoming cashless. ②The reasons vary, but stores dislike cash because it takes workers a lot of time to give change to customers, count money, and make bank deposits. ③Electronic payments are much faster. ④Although credit card and mobile payment platforms charge small fees, the time and labor savings are much more worthwhile to stores. ⑤When one store went cashless for a month, it gave customers small food items for free instead of using its workers' time to accept coins or paper money! ⑥The costs are also high for banks, which maintain large ATM networks and hire security guards. ⑦In a big economy like Japan's, these costs add up. ⑧Handling cash costs 1.6 trillion yen a year in Japan due to extra labor costs. ⑨Governments also prefer cashless because they can track criminal activities or find tax flow more easily. ⑩This is why governments often work closely with businesses to reduce the role of cash in their economies.

4 ①Many younger people prefer the ease and safety of electronic payments. ②In countries with high crime rates, it's unsafe to carry cash for large purchases. ③Shoppers also save time and avoid lines when paying electronically. ④Workers in cashless stores spend less time operating cash registers and more time helping customers find what they want. ⑤For all of these reasons, cashless stores draw 2.1% more customers, and customers spend 1.6% more money. ⑥Therefore, both stores and customers benefit.

全体要旨

キャッシュレス社会への変化について書かれた英文。

要旨

1 スウェーデンは、キャッシュレス社会に急速に移行しつつある。

2 キャッシュレス社会に移行する速さは、電子決済に慣れているスウェーデンの人たちにも、速すぎるかもしれない。

3 時間と労働力が節約できるので、多くの企業がキャッシュレス化を検討している。政府も犯罪行為の追跡や税の流れの把握ができるので、キャッシュレスを好む。

4 多くの若者は、電子決済の容易さと安全性の方を好み、店も客も恩恵を受けている。

問3④が誤りである根拠

問3の正解の根拠

5 ①Nevertheless, some people still prefer cash. ②Elderly people prefer the old way they are already accustomed to. ③New immigrants and those in poverty have to rely on cash because they often don't have their own bank accounts. ④There are even some who like to withdraw cash at the start of each week as a good way to control their expenses. ⑤Besides, concern over privacy theft still remains because of some cases in which companies leaked their customers' personal information.

6 ①Because of these personal preferences and the needs of senior citizens and other important groups, most countries are moving slowly while watching Sweden's experiment. ②Many are deciding to become "less cash" rather than cashless societies. ③In other words, they are trying to reduce, but not eliminate, the use of coins and paper money. ④Similarly, many businesses plan to continue to accept cash. ⑤But they often use loyalty points, reward programs, and other incentives to encourage their customers to make electronic purchases. ⑥Although most governments and businesses are moving slowly, the costs of handling cash are too high to ignore, so change is inevitable.

5 キャッシュレス社会は恩恵があるにもかかわらず、現金を使用する、あるいは、使用せざるを得ない様々な事情の人たちがいる。

6 ほとんどの国はキャッシュレス社会に向かいつつあるが、多くはキャッシュレスというよりも「より現金の少ない」社会を目指している。

全文訳

あなたは経済政策と社会政策についてのポスタープレゼンテーションの準備をしている。あなたは以下の記事を見つけた。

キャッシュレス社会に向けて？

1 ①北ヨーロッパの国スウェーデンは、キャッシュレス社会に急速に移行しつつある。②スウェーデンの多くの店舗やいくつかの銀行でさえ、もう硬貨や紙幣を受け入れない。③2025年までに、スウェーデンの全店舗の半数が、もう現金を受け入れなくなると予想される。

2 ①これらの変化は、電子決済に慣れているスウェーデンの人たちにも、速すぎるかもしれない。②わずか4年前の2014年には、40パーセントの人たちが現金を使用した。③2018年にはスウェーデンの買い物客のわずか13パーセントしか、現金で商品を買わなかった。④18歳から24歳の人々は、キャッシュレス決済に一番慣れている。⑤彼らの購入品の最大95パーセントは、デビットカードとスウェーデンの人気携帯電話決済のアプリが使われている。

3 ①多くの企業がキャッシュレス化を検討している。②その理由は様々であるが、店舗は、従業員が客におつりを渡し、お金を数え、銀行預金をするのに多くの時間がかかるので、現金を嫌う。③電子決済はずっと高速である。④クレジットカードとモバイル決済プラットフォームには少額の手数料が請求されるが、時間と労働力の節約は店舗にとってははるかに価値がある。⑤ある店が1か月間キャッシュレスになったとき、硬貨や紙幣を受け取るのに従業員の時間を使う代わりに、客に小さな食料品を無料で提供した！⑥大規模なATMネットワークを維持し、警備員を雇うので、コストは銀行にとっても高くなる。⑦日本のような大規模な経済では、これらのコストが徐々に増える。⑧現金の取り扱いには、人件費が余分にかかるので、日本では年間1.6兆円の費用がかかる。⑨政府はまた、犯罪行為を追跡したり、税の流れをもっと簡単に見つけたりすることができるので、キャッシュレスの方を好む。⑩それで、政府は経済における現金の役割を減らすために、しばしば企業と密接に連携する。

4 ①多くの若者は、電子決済の容易さと安全性の方を好んでいる。②犯罪率の高い国々では、大規模な購入のために現金を持ち運ぶことは安全ではない。③買い物客はまた、電子決済をすると時間を節約し、列に並ぶのを避けることができる。④キャッシュレス店の従業員は、現金レジの操作に費やす時間を減らし、客が欲しいものを見つけるのを手伝うのもっと多くの時間を費やす。⑤これらの理由すべてから、キャッシュレス店は2.1パーセント客を増やし、客の出費は1.6パーセント増える。⑥したがって、店も客も恩恵を受けるのである。

5 ①それにもかかわらず、まだ現金の方が好きな人もいます。②高齢者は自分たちが既に慣れている古い方法の方を好む。③新しい移民や貧しい人たちは、自分の銀行口座を持たないことが多いので、現金に頼らざるを得ない。④出費を抑える適切な方法として、週の初めごとに現金を引き出すのを好む人さえいる。⑤そのうえ、企業が顧客の個人情報漏らしたケースもあるので、プライバシーの盗難に対する懸念は依然として残っている。

6 ①これらの個人的な好みと高齢市民やほかの重要な集団の必要のために、ほとんどの国はスウェーデンの実験を見ながらゆっくりと動いている。②多くは、キャッシュレスというよりも「より現金の少ない」社会になろうと決心しつつある。③言い換えれば、彼らは硬貨と紙幣の使用を排除しようとしているのではなく、減らそうとしているのだ。④同様に、多くの企業は引き続き現金を受け入れるつもりである。⑤しかし、客に電子購入をするように勧めるために、彼らはしばしばロイヤルティポイントや報酬プログラム、そしてほかの動機を利用することが多い。⑥ほとんどの政府や企業はゆっくりと動いているが、現金を取り扱うコストは高すぎて無視できないので、変化は不可避である。

Towards a Cashless Society?

キャッシュレス社会に向けて？

Sweden: スウェーデン:

changes happening very quickly 変化が急速に起こっている

- young people most comfortable 若い人々が一番慣れている
- 50% of stores to be cashless by 2025
2025年までに50%の店舗がキャッシュレスになる

Reasons to go cashless: キャッシュレスに移行する理由:

- faster for both shoppers and workers 客も従業員も時間が短縮できる
- cheaper for businesses and banks 企業にも銀行にもよりお金がかからない
- more convenient for governments 政府にとってより便利である
- safer than carrying large amounts of cash 多額の現金を持ち歩くよりも安全である

One store gave away free items after going cashless.

ある店がキャッシュレスになったあとに無料の品物を提供した。

⇒ This demonstrates . このことは を明らかにする。

Reasons to rely on cash: 現金に頼る理由:

- cash can help you budget yourself 現金は予算を立てるのに役立つ
-

Therefore, . したがって, .

問1 《スウェーデンの社会政策の要点を把握する》

Choose the best option for **39** on your poster.

「あなたのポスターの **39** に最も適当な選択肢を選びなさい。」

選択肢

- ① encouraging its stores to sell different items
「国内の店舗に様々な品物売るように勧めている」▶述べられていない。
- ② introducing coins and paper money with a new look
「新しい見た目の硬貨と紙幣を導入している」▶述べられていない。
- ③ teaching older people to spend money more carefully
「高齢者にもっと慎重にお金を使うように教えている」▶述べられていない。
- ④ trying to change the methods people use to buy things
「人々が物を買うために使う方法を変えようとしている」

解説

39 はポスター内で「スウェーデン」について説明している部分。空所に続いて、スウェーデンのキャッシュレス社会に対する変化がまとめられている。第**1**パラグラフが「スウェーデンは、キャッシュレス社会に急速に移行しつつあり、多くの店舗やいくつかの銀行では、もう硬貨や紙幣を受け入れない。2025年までに、全店舗の半数が、現金を受け入れなくなると予想される」という趣旨なので、④が正解。ほかの選択肢の内容は、本文中では言及されていないので、すべて不適切。

問2 《店舗が無料で品物を配る例について把握する》

Choose the best option for **40** on your poster.

「あなたのポスターの **40** に最も適当な選択肢を選びなさい。」

選択肢

- ① one way that businesses encourage people to use only mobile payments
「企業が人々にモバイル決済だけを利用するように勧める方法」▶「モバイル決済だけ」ではない。
- ② one way to reward store employees for their efforts
「店の従業員の努力に報いる方法」▶述べられていない。
- ③ the hard work needed by stores to attract customers
「客を引き寄せるために店舗が必要とする骨の折れる仕事」▶述べられていない。
- ④ the labor costs required to accept coins and paper money
「硬貨と紙幣を受け取るために必要になる人件費」

解説

第**3**パラグラフ第⑤文に、「ある店が1か月間キャッシュレスになったとき、硬貨や紙幣を受け取るのに従業員の時間を使う代わりに、客に小さな食料品を無料で提供した！」とあり、この直前の第④文には「クレジットカードとモバイル決済プラットフォームには少額の手数料が請求されるが、時間と労働力の節約は店舗にとってははるかに価値がある。」と述べられていることから、④が正解。空所の前後とあわせて、「キャッシュレスになったあと無料の品物を提供することは、現金での支払いにかかる人件費がどのくらい必要かを明らかにする」ということ。①は第④文より「クレジットカード決済とモバイル決済」を利用するように勧める方法だとわかるので不適切。②と③の内容は言及されていないので、いずれも不適切。

問3 《現金決済がなくなる理由を理解する》

Choose the best option for **41** on your poster.

「あなたのポスターの **41** に最も適当な選択肢を選びなさい。」

選択肢

- ① ~~x~~ some kinds of bank accounts cannot be used for cashless payments
「いくつかの種類の銀行口座がキャッシュレス決済に使うことができない」▶述べられていない。
- ② some people are reluctant or unable to use cashless payments
「キャッシュレス決済を利用したくないか、あるいは、できない人たちもいる」
- ③ ~~x~~ there is fear of governments controlling people's purchases by tracking payments
「政府が支払いを追跡することによって人々の購入を管理することへの恐怖感がある」▶述べられていない。
- ④ ~~x~~ there is growing concern over the security of cashless payments
「キャッシュレス決済のセキュリティに対する心配が高まりつつある」

解説

空所 **41** はポスター内の **Reasons to rely on cash** 「現金に頼る理由」に続いているので、「現金決済」について述べていることを押さえる。第**5**パラグラフの第①～③文に「高齢者は自分たちが既に慣れている現金決済の方を好み、移民や貧しい人たちは、自分の銀行口座を持ってないことが多く、現金に頼るしかない」という内容が述べられているので、②が正解。①と③の内容は本文中に述べられていないので、不適切。④は、キャッシュレス決済は現金を持ち運ぶより安全なことが第**4**パラグラフ第①・②文に述べられているし、現金決済がなくなる理由としては述べられてもいないので、不適切。

問4 《記事全体を要約する》

Choose the best option for **42** on your poster.

「あなたのポスターの **42** に最も適当な選択肢を選びなさい。」

選択肢

- ① ~~x~~ most countries are following Sweden's example by stopping the use of cash
「ほとんどの国は、現金の使用をやめることによって、スウェーデンの例に従っている」
- ② ~~x~~ most countries are promoting the use of cash because of Sweden's experiences
「ほとんどの国は、スウェーデンの経験を理由に、現金の使用を促進している」
- ③ ~~x~~ Sweden's card and mobile payment networks are better than other countries' networks
「スウェーデンのカードとモバイル決済ネットワークは、ほかの国々のネットワークよりも優れている」
- ④ Sweden's results are promising, but most countries are proceeding carefully
「スウェーデンの結果は前途有望であるが、ほとんどの国は慎重に進めている」

解説

空所 **42** はポスターの最後の部分。Therefore, 「したがって、」に続くので、ポスター全体のまとめの部分であると考えられる。第**1**パラグラフで「キャッシュレス社会に移行しつつあるスウェーデン」というこの記事のテーマが述べられたあとで、第**2**パラグラフから第**5**パラグラフで、「急速なキャッシュレス化」「政府や多くの企業がキャッシュレス化を検討する理由」「電子決済の容易さと安全性」「依然として残る現金決済」が説明されている。この流れを受けて第**6**パラグラフでは、「ほとんどの国は、スウェーデンの例を見ながら、ゆっくりと、より現金の少ない社会に向かいつつある」という展望を述べていることから、この記事全体の要約としては④が正解。筆者は、ほかの選択肢の内容を主張していないので、いずれも不適切。

<MEMO>

MEMORANDUM FOR THE RECORD

DATE: 1954

TO: [Name]

FROM: [Name]

SUBJECT: [Topic]

[Detailed text of the memorandum]

[Detailed text of the memorandum]

[Detailed text of the memorandum]

第6問B 説明文 一演劇を用いた英語教育一

問題のねらい 「どれほど演劇が英語教育で役立つか」に関する記事の読み取りを通して、記事の概要・要点を把握する力、情報を整理しながら読む力、要約する力を問う。

概要・要点把握 論理展開把握 要約

You are researching different methods of teaching literacy. You are going to read the following article to understand how drama can assist in teaching English.

1 ①Despite decades of research showing the effectiveness of using drama in various classes as a way to improve students' literacy, drama is still often overlooked. ②That's because most teachers aren't confident in their knowledge and their ability to combine drama into different subjects. ③To tackle this problem, the University of Sydney and the Sydney Theatre Company teamed up to create a drama-based teaching program called "School Drama," which has transformed English and literacy education for thousands of teachers and students around Australia. ④School Drama (SD) is designed to improve literacy in young students by pairing actors and teachers to help students experience the lesson through activities. ⑤There are two primary purposes for SD. ⑥The first purpose is to expand teachers' knowledge in using drama as a teaching tool in their classroom. ⑦The second is to improve students' literacy and engagement in class.

2 ①Teacher training is the starting point. ②SD starts off with a pre-program workshop with the teachers and the school principal. ③Next, a teacher and an actor pair up and plan a team-teaching program to achieve learning goals for the class. ④Once the program starts, they'll teach together in the classroom, once a week for seven weeks. ⑤During this time, they'll plan, teach, and figure out ways to improve their drama strategies. ⑥This will help the teachers' confidence in adding drama to their regular teaching routine.

3 ①There are many more benefits to this program besides improved literacy and engagement. ②SD can also help with students' confidence, motivation, imagination, teamwork, social skills, ability to think outside the box, and the ability to recognize that mistakes are part of learning. ③Furthermore, it was often reported that the program had a positive impact on students' behavior. ④For example, a few students were shy and unwilling to answer questions in the first week, but by the end, they were participating in activities and weren't self-conscious.

全体要旨

「どれほど演劇が英語教育で役立つか」について書かれた英文。

要旨

1 授業で演劇を使用することが生徒のリテラシーを向上させるのに効果的であると判明しているにもかかわらず、見過ごされてきたために、演劇を基礎とした教育プログラムSD(スクールドラマ)が作成された。SDには、2つの目的があり、教室で演劇を使用するときの教師の知識を広げる目的と、幼い生徒のリテラシーを高め授業へ積極的に参加させる目的がある。

問1②が誤りである根拠

2 SDは教師と校長との事前プログラムワークショップ(研修会)で始まり、次に教師と俳優が二人1組になり授業の学習目的達成の計画を立てる。週に1回、7週間教室で一緒に授業を行う。その間、計画を立て、教えて、演劇手法の改善策を考え出す。

3 SDは、当初の目的以外にも、生徒の自信、やる気、想像力、チームワーク、社会的技能、枠にとらわれない考え方などの能力を高めたり、生徒の行動面にもよい影響を与えたりするという利点がある。

問2の正解の根拠

4 ①In 2009, SD started a pilot program (testing stage), which included nine classes from five schools, and involved more than 250 people. ②The following year it was even bigger, thanks to the success of the first year. ③This time it was 15 schools, 26 teachers, and four actors, two of whom were the actors from 2009. ④By 2011, the pilot program had 18 schools and six actors. ⑤Today, this program connects with more than 27,000 students and teachers nationwide.

5 ①The success of the SD pilot program is yet another confirmation that drama has more value than you might expect. ②It's a perfect example of creatively using drama in students' education to improve literacy. ③The program is currently expanding to every state and territory in Australia. ④The organizers hope it will have an impact internationally, starting with New Zealand. ⑤The SD team is also working on bringing this program to those who use English as an additional language, such as migrants.

問2の正解の根拠

地域、準州

主催者

移民

4 2009年にパイロットプログラムを5つの学校で約250人から始め、毎年その数を増やし、現在全国で27,000人以上の生徒や教師と連携している。

5 演劇には予想以上に価値があることが判明し、オーストラリアだけでなく国際的に利用することや追加の言語としての英語教育にも応用しようとしている。

全文訳

あなたはリテラシー（読み書き能力）を教える様々な方法を研究している。次の記事を読み、演劇が英語を教えるうえでどのように役立ちうるかを理解しようとしている。

1 ①数十年の研究から、生徒のリテラシーを向上させる方法として様々な授業で演劇を用いることが有効であることが示されているにもかかわらず、演劇は依然として見過ごされることが多い。②その理由は、ほとんどの教師が、演劇を様々な科目に組み合わせる知識と能力に自信がないためである。③この問題に取り組むために、シドニー大学とシドニーシアターカンパニーは、School Drama「スクールドラマ」と呼ばれる演劇に基づく教育プログラムを共同で作成した。そして、このSchool Dramaによって、オーストラリア中の何千人もの教師と生徒たちにとって英語とリテラシー教育が一変してしまった。④School Drama (SD) は、生徒が活動を通して授業を体験する手助けをするために俳優と教師を二人1組にして、若い生徒のリテラシーを向上させることを目的としている。⑤SDには2つの主要な目的がある。⑥第1の目的は、教室で演劇を教育ツールとして使用するときの教師の知識を広げることだ。⑦2つ目は、生徒のリテラシーと授業への参加を向上させることだ。

2 ①教師の訓練が出発点だ。②SDは、教師と校長との事前プログラムワークショップから始まる。③次に、教師と俳優が二人1組になって、授業の学習目標を達成するためのチームティーチングプログラムの計画を立てる。④プログラムが始まると、週に1回、7週間、教室で一緒に教える。⑤この間、彼らは、計画を立てて、教えて、そして演劇手法を改善する方法を考え出す。⑥こうすることで、通常の定まった教育活動に演劇を追加することに対して、教師は自信を持てるようになる。

3 ①このプログラムには、リテラシーと授業への参加を向上させる以外にもより多くの利点がある。②SDはまた、生徒が自信、やる気、想像力、チームワーク、ソーシャルスキル（社会的技能）、既存の枠にとらわれずに考える能力を持ち、そして間違いが学習の一部であることを認識する能力を持つことにも役立ちうる。③さらに、プログラムが生徒の行動により影響を与えたことがしばしば報告された。④例えば、最初の1週間は、恥ずかしがり屋で質問に答えたがらない生徒も少しいたが、最終的にはその生徒たちは活動に参加し、人目を気にしなくなった。

4 ①2009年に、SDはパイロットプログラム（テスト段階）を開始したが、これには、5つの学校の9つのクラスが含まれ、250人以上が参加した。②最初の年が成功したおかげで、その翌年それはさらに大きくなった。③今度は、15校、26人の教師、4人の俳優が参加したが、そのうち2人は2009年から参加している俳優であった。④2011年までに、パイロットプログラムには18の学校と6人の俳優が参加した。⑤現在、このプログラムは、全国の27,000人以上の生徒や教師と連携している。

5 ①SDパイロットプログラムの成功により、演劇には予想以上の価値があることをさらに確認することができる。②これは、リテラシーを向上させるための生徒の教育で演劇を創造的に使用する完璧な例である。③このプログラムは現在、オーストラリアのすべての州および準州に拡大している。④主催者はニュージーランドから始めて、それが国際的に影響を与えることを望んでいる。⑤SDチームは、移民など、追加の言語として英語を使用する人々にとってこのプログラムを提供することにも取り組んでいる。

問1 《概要を把握する》

Although using drama in education has been proven effective in developing students' literacy, **43**.
 「教育に演劇を使うことは生徒たちのリテラシーを育てるのに効果的であると証明されているが
43。」

選択肢

- ① ~~x~~ drama was adopted immediately in schools
 「学校で演劇がすぐに採用された」▶述べられていない。
- ② few schools have adopted this method of teaching
 「この教授法を採用してきた学校はほとんどない」
- ③ many teachers have ~~x~~ a belief to the contrary
 「多くの教師は反対の信念を持っている」▶「反対の信念」では効果なしという意味になってしまう。
- ④ researchers ~~x~~ are reluctant to study it further
 「研究者はそれをさらに研究したがるない」▶述べられていない。

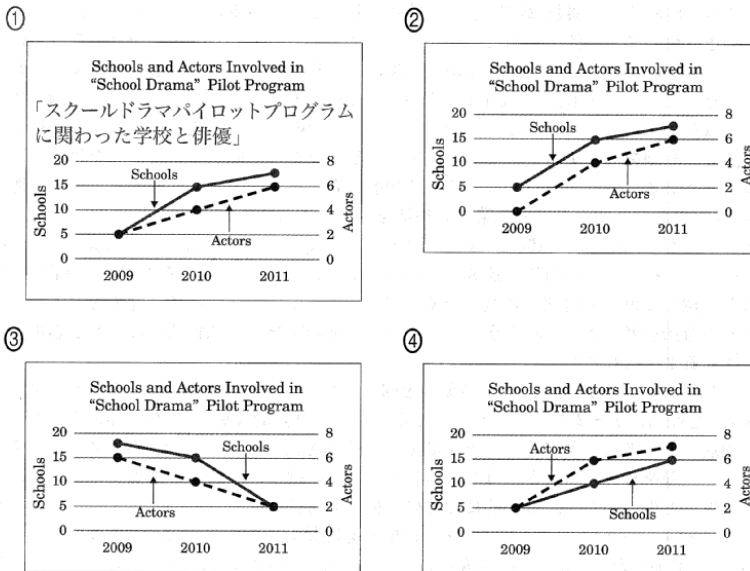
解説

第1パラグラフの第①文に「生徒のリテラシーを向上させる方法として様々な授業で演劇を用いることが有効であることが示されているにもかかわらず、演劇は依然として見過ごされることが多い」とある。「見過ごされることが多い」を採用されない場合が多いと考えて、②が正解。③は、第1パラグラフの第②文に「その理由は、ほとんどの教師が、演劇を様々な科目に組み合わせる知識と能力に自信がないためである。」とあり、「反対の信念を持っている」のではなく「自信がない」ので不適切。

問2 《パイロットプログラムの推移をグラフで把握する》

Out of the following four graphs, which illustrates the situation in the article the best? **44**
 「次の四つのグラフの中で、どれが最も適切に記事の状況を説明しているか？」 **44**

選択肢



解説

第4パラグラフより、参加した学校数は2009年に5校、翌年(2010年)に15校、2011年までに18校とあるので、③と④は誤り。そして、参加した俳優の数が2009年に2人、翌年(2010年)4人、そして2011年までに6人とあるので①が正解。

問3 《要点を把握する》

According to the article, which two of the following are benefits of School Drama? (Choose two options. The order does not matter.) 45・46

「この記事によれば、School Drama の利点は次のうちの二つか？（選択肢を二つ選べ。順番は問わない。）」 45・46

選択肢

- ① Boost in self-confidence
「自信を高める」
- ② ~~×~~ Fewer mistakes
「間違いが減る」▶第3パラグラフ第2文より「間違いは学習の一部」と認識できるようになる。
- ③ Improved ~~×~~ financial status
「財政状態の改善」▶述べられていない。
- ④ Improved literacy
「リテラシーの向上」
- ⑤ ~~×~~ Increase in respect for the arts
「芸術に対する敬意の増大」▶述べられていない。

解説 School Drama に関しては、第3パラグラフに述べられている。第①文に「このプログラムには、リテラシーと授業への参加を向上させる以外にもより多くの利点がある。」とあることから、④が正解。また、「～以外にもより多くの利点」については、第②文に「SD はまた、生徒が自信、やる気、想像力、チームワーク、ソーシャルスキル（社会的技能）、既存の枠にとらわれずに考える能力を持ち、そして間違いが学習の一部であることを認識する能力を持つことにも役立つ。」とあることから、①も正解である。「間違いが学習の一部であることを認識する能力」とあるが、間違いを減らすとは述べられていないので、②は不適切。「財政」に関することや「芸術への敬意」に関することはいずれも述べられていないので、③、⑤ともに不適切である。

問4 《文章のタイトルとしてふさわしいものを判断する》

The best title for this article is 47.

「この記事のための最も適当な表題は 47 である。」

選択肢

- ① How to Start a School Drama Pilot Program ~~×~~ at Your School
「あなたの学校で School Drama パイロットプログラムを開始する方法」▶述べられていない。
- ② ~~×~~ New Zealand's Growing Literacy Problem
「ニュージーランドで大きくなっているリテラシー問題」▶述べられていない。
- ③ The Attempts and Fruits of Using Drama in Education
「教育で演劇を使用する試みと成果」
- ④ The Effectiveness of School Drama ~~×~~ in Theatre Performances
「劇場上演での School Drama の有効性」▶述べられていない。

解説 この記事では、演劇を授業に取り入れるとリテラシー能力の向上だけでなく、様々な利点があることが説明されている。したがって、③が正解。①は「あなたの学校」という個別の学校での導入という部分が誤り。②は、隣のニュージーランドを皮切りにこの教授法を世界に広めるといった記述はあるが、ニュージーランドのリテラシー問題については述べられておらず、記事全体のことでないので不適切である。④は、「劇場上演での」という部分が誤り。